

駅コンコース案内放送の明瞭度向上手法

伊積康彦 石突光隆

駅構内では、音声を用いて多くの情報伝達が行われている。しかし、大きなターミナル駅などでは、案内放送以外の暗騒音や反射音の影響を受けて、案内放送が聞き取りにくい場合がある。そこで、駅コンコースの案内放送が聞き取りやすい条件を明らかにするために、首都圏の駅と実物大模擬駅舎において被験者試験などを実施した。まず、首都圏の4駅6箇所コンコースと地下ホームで被験者による聞き取りにくさ試験を行い、スピーカから3m程度以内では、案内放送の聞き取りにくさには案内放送のSN比が反射音よりも大きな影響を受けることを確認した。次に、模擬駅舎で暗騒音を60～72dBに変化させて聞き取りにくさ試験などを行った。その結果、図に示すように暗騒音レベルと聞き取りにくさが極小となるSN比との関係を明らかにした。さらに、スピーカの設置位置による聞き取りに

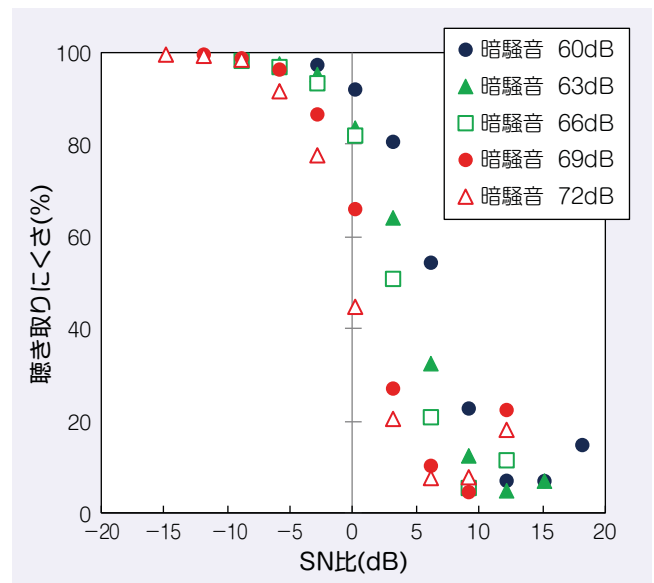


図 暗騒音レベルと聞き取りにくさとの関係

くさを比較した。これらの結果より、駅案内放送の明瞭度向上手法を提案した。